

## 昆虫を調べよう

その場所に生息している昆虫の種類を調べる方法はいろいろあります。様々な方法を試してみることで、それぞれの昆虫の生息環境や習性についての情報を得ることができます。手法を知ってさえいれば、どこに行っても昆虫を調べることができます。



## ねらい

昆虫の存在を嫌わずに、身近な存在として感じられるようになる。

## 達成目標

- ・調査の方法によって、どのような昆虫が観察できるのか、例をあげて説明できるようになる。
- ・調査方法について、数例説明できるようになる。



## 導入

昆虫がどんな所に生息しているのか、知っていることを出し合う。それぞれの昆虫はどのようにして観察したり、調査したりできるか、同じく情報を出し合ってみる。今回チャレンジする調査方法について検討する（あるいは、指導者の方から紹介する）。

## 本体

ビーティング法（傘を逆に持って、上方の木の枝を叩き、落ちてきた虫を捕獲する）、スイーピング法（草むらや灌木で捕虫網を横に振って昆虫を捕獲する）、ベイトトラップ法（落とし穴に腐った肉などを餌として入れ、土の上を徘徊している昆虫を捕獲する）、咲いている花に集まってくる虫を捕獲する方法、ツルグレン法（土を採取し、上から電灯を当て、乾燥を嫌う土壤動物が下方に逃げるのを下で受け止める）、誘蛾灯による採取（夜、白い布にライトを当て、集まってきた虫を捕獲する）などの調査方法をいくつか実施して、採取できた昆虫を調べる。

## まとめ

今回の結果から、今後どんな調査が可能かアイデアを出しあってみる。

## 実施のポイント

グループに分けて、それぞれのグループが一つずつの調査方法を実施して、結果を持ち寄ると時間が短縮できる。昆虫の種類を調べるために、図鑑が必要になる。

◆所要時間	60分
◆人 数	5~40人
◆関連教科等	総合的な学習の時間、理科、図画工作
◆焦点を当てる能力	想像する、描く、観察する、結びつける
◆準備するもの	ワークシート、筆記用具
◆安全のポイント	活動の範囲や集合場所、危険な場所について、明確に伝える

**評価の視点**  
手順に沿って調査を実施できたかどうか、調査法や観察した昆虫について自分の意見を述べることができたかどうか、に注目しよう。

**発展・応用**  
以上に紹介した調査方法以外の調査も試してみよう。

**参考文献**  
フィールドガイドシリーズ  
「自然観察ガイドブック」「昆虫ウォッチング」  
オリジナル／自然教育研究センター

## 昆虫を調べよう 27

## 4種類の調査方法でみつけたもの

たたきおとして調べる方法  
(ビーティング)あみをつかって調べる方法  
(スイーピング)エサをしかけて調べる方法  
(ベイトラップ)

他の方法をつかって調べたことを書いておきましょう

(方法名： )